

法人様向け ライスセンターの建設について

年々、農地集積が進むことにより、生産法人のライスセンター建設に対する関心が高まっていきます。

JA全農にいがたは「施主代行」により、法人様に向けた様々な提案、サポートをおこなっております。本レポートでは「施主代行」の内容とメリットについてご紹介いたします。

(1) 施主代行とは？

- 依頼主(施主)が行なう施設建設の発注や工事管理を、JA全農にいがたが施主の立場で支援し、施主と共に施設建設を進めることです。

- 施設建設には、設計や工事管理など専門的な知識が求められます。
- また、県や国の補助事業を活用する場合、多くの事務手続きを求められ、経験の無い方が独力で対応することはとても大変です。
- JA全農にいがたが責任を持ってこれらの業務を支援いたします。

■ 具体的な業務内容の例

- ライスセンターの設計、建築確認申請などの申請手続き
- 補助事業における行政対応のサポート
(適正な建築規模・機械設備能力の算定、完成後の検査対応など)
- 入札などの業者選定の段取りと契約締結
- 工事の施工管理
- 工事代金の精算処理
- 建屋の一年点検などアフターフォローの実施

など

(2) 施主代行のメリットとは？

■ 機能性に優れた設計

⇒ 経験豊富な職員により、要望を具体化した設計を実現します。



■ 公正な入札実施による工事費の低減

⇒ 施工業者間の競争を働かせることで、工事費の低減を図ります。

■ 工事におけるチェック機能の発揮

⇒ JA全農にいがたが施主の立場で工事管理を行うことで、施工不良の防止や
施工業者の責任の明確化に努めます。

■ 建設に関するリスクの軽減

⇒ 施工業者は全農独自の総合補償制度に加入します。これにより、施工業者の
倒産、工事中の事故・災害などの工事期間中に発生し得るリスクを軽減します。

(3) 施主代行 利用者の声

■ (農)松岡楽農倶楽部様 (新発田市)

■ 令和4年 ライスセンター建設

①施設を建設して良かったことは？

⇒ 今まで各自個人で作業をしていましたが、
作業場を集約することにより、
効率性が格段に上がりました。



②施主代行を利用してみての感想は？

⇒ 行政・業者とのやり取り、入札の段取り
など、自分たちではできないことを代行していただき、**安心して任せられました。**



③施設建設を考えている方へのアドバイスは？

⇒ まずJAに相談することをおすすめします。

◆お問い合わせは JA / JA全農にいがたへ

J A全農にいがたは施設建設を通じて担い手の皆様の支援に取り組んでまいります。

ライスセンターに限らず農業関連施設の建設をお考えでしたら、お近くのJAまたはJA全農にいがたへお問い合わせください。